どろんこだいすき

令和８年 １１月２日
千代田区立昌平幼稚園
園長　大川　美紀子

『昌平キッズ』ビオトープだより　NO. ２５０

涼しさを感じる日が増え、秋らしい気候となってきました。園庭の木々や草花の様子からも、季節の移り変わりを感じます。心地よい気候の中、子どもたちは収穫の喜びを味わったり、見付けた木の実や落ち葉を遊びに取り入れたりしながら、身近な自然に親しんで過ごしています。

収穫の秋

先月のポップコーンの収穫や、今月の稲刈り、芋掘りなどの体験を通して、子どもたちは収穫の喜びを味わいながら、秋ならではの豊かな実りに触れることができました。

昌平幼稚園の田んぼでは、日光や雨の恵みを受けて稲がぐんぐん育ち、秋には黄金色の稲穂がたわわに実りました。４月の田起こしの頃から、“今年は自分たちが田んぼの稲のお世話を担うんだ”と期待と意欲をもって、稲作に取り組んできたきりん組。これまでの稲の生長やお世話してきたことを振り返りながら、稲刈りの日を迎えました。

稲刈りは、地域協力者の方と保育者と一緒に鎌を使って行いました。鎌で刈るためのコツを掴むと、サクッと刈ることのできる感覚の気持ちよさや自分の力で多くの稲を刈ることができた嬉しさを味わいながら取り組む姿がありました。



地域協力者の方に見守っていただきながら進めました。



たくさん収穫できて嬉しいね！



収穫を終え、はさに並ぶ稲やその香りから自然の恵みを感じます。



稲刈り後の田んぼも、昌平幼稚園ならではの、大切な遊びの環境です。

これから、収穫祭に向けて脱穀や籾摺りをしていきます。今年度も保護者の皆様に、脱穀・籾摺りのお手伝いをしていただければ幸いです。登降園時の時間帯に合わせて遊戯室で行いますので、ご都合のつく方はぜひご協力をお願いいたします。





ひよこ組とうさぎ組は、きりん組の稲刈りを見学した後、各クラスで育ててきた、バケツ稲をハサミで収穫しました。

土となかよし

秋植えの植物のために、地域協力者の方のご指導の下、“栄養たっぷりのいい土になるように”と手で土を混ぜて、土作りをしました。そして、一人一人が自分の鉢に球根を植えました。今回植えた球根は、ひよこ組がクロッカス、うさぎ組がスイセン、きりん組がチューリップです。進級・就学する頃に開花するのが楽しみです。

土に触れることに初めは躊躇しながらも、保育者と一緒にやってみて、徐々に触れるようになる姿がありました。一人一つの鉢があることも嬉しい様子でした。





手で土を混ぜて土作りをすることが楽しい、自分のスイセンの球根を植えることが嬉しいという様子で、張り切って取り組んでいました。

すっかり土となかよし、虫と友達になったきりん組。今回は最後の土となかよしでした。お世話になった地域協力者の方に感謝の気持ちを示しながら取り組みました。



ビオトープ

今年も、どんぐり山にどんぐりが転がり始めました。また、園庭西側のビオトープでは柿や夏みかん、カリンなども実っています。転がっているどんぐりや果実を発見すると、子どもたちは何だか宝物を発見したような気持ちになるようで、その嬉しさを、繰り返し探してみたり、大切に保育室に持ち込んだりする姿で表しています。

これから秋が深まり冬に向かうにつれて、これらの果実が色付いていきます。子どもたちには、その様子から季節の変化を感じたり収穫を楽しんだりしてほしいと願っています。



きりん組は、生け花体験講師の宇田川先生からいただいたパンプキンと園庭の自然物（どんぐりや落ち葉等）を使って、製作を楽しみました。

ビオトープクイズ

どんぐりやまに、どんぐりがおちてきました。
さて、なんというなまえのきから、おちてきたでしょうか？
（ヒント：かぶとむしなどが、あつまってくるきです。
くだものは、みのりません。）

1. なつみかん
2. くぬぎ
3. かき



１１月９日（月）の登園時までに、解答用紙をビオトープクイズ応募箱に入れてください。